



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 中村 光希 / 湊 宏美 / 渡邊 優子 / 矢野 美由紀 / 小松 敏也 / 森川 貴道 / 高田 稜雅
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	兵庫県医学検査学会を終えて、兵庫県臨床検査技師会 記念式典を終えて	1
	[新連載] 突撃! となりの検査室	2
	タスク・シフト/シェア ~一歩先の業務を!~, #研究班(微生物研究班)	3
	MTJ転載内容、沿革、行事・求人案内	4
	会員グルメ情報	5

組織 兵庫県医学検査学会お終えて

松田 武史 学会長 (第27回兵庫県医学検査学会)

第27回兵庫県医学検査学会を2024年2月4日(日)に神戸常盤大学にて無事、開催することが出来ました。ご支援賜りました会員ならびに企業の皆様には心より感謝申し上げます。

さて、学会では会長講演・特別企画・シンポジウムにおいても沢山の方々にご参加いただき、また一般演題でも活発な討議がなされました。

2020年以降、コロナ禍となり集合形式での開催は控えておりましたが、久しぶりの対面での開催となりました。参加者も192人となり、新人の方にも学会の雰囲気を感じて貰えたのではないのでしょうか。シンポジウムでは日当直や緊急検査にて行う検査の注意点など、新人技師の不安解消となるような内容や、医療安全に関する講演などを行いました。また、ワークショップでは実際に顕微鏡を使用し、普段、見る機会の少ない寄生虫や細胞形態などを各学術研究班独自で特徴を生かした研修を企画・実施していただきました。

兵庫県医学検査学会は、多くの会員ならびに企業の皆様に支えられて開催されています。

今後も、会員各位の皆様の自己研鑽と情報交換ならびに交流の場となるよう企画し、人材育成の一助となるよう進めてまいりますので、引き続き技師会運営にご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。



スタッフ集合



ワークショップ 一般



研究班主催セミナー 病理

兵庫県臨床検査技師会 記念式典を終えて

真田 浩一 会長 (兵庫県臨床検査技師会)

去る令和6年1月14日(日)神戸ポートピアホテル 大輪田の間において、会員、賛助会員、関連団体の皆様方136名の御列席を賜り、「兵庫県臨床検査技師会 創立70周年・公益社団法人設立10周年記念式典」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当初の予定より1年遅れとなりましたが、厳粛な中にも心温まる記念式典ができましたことを関係者一同大変うれしく思っております。これもひとえに皆様方の、当会に対する深い御理解と温かい御支援の賜と感謝申し上げます。

記念講演は「AMRという危機に挑む姫路市の新興感染症対策」をテーマに、清元 秀泰姫路市長にご講演いただきました。姫路市は2022年2月、「AMR対策推進のまち宣言」を行い、市をあげてAMR対策の啓発活動を行っており、それらの状況に加え感染症全般に関する内容を、市長および医師としての目線からお話いただきました。

記念式典は来賓を代表して兵庫県保健医療部長の山下輝夫様、日本臨床衛生検査技師会専務理事の滝野寿様、兵庫県看護協会会長の丸山美津子様から祝辞をいただいたのち、兵庫県知事表彰受賞の藤原 美樹会員、兵庫県知事感謝受賞の駒井 隆夫会員、当会会長感謝受賞の神戸常盤大学様の授賞式を行いました。

祝賀会は、当会の第10代会長である福田邦昭名誉会員の乾杯の発声を皮切りに、終始和やかなムードで進み、令和4年度兵臨技功労賞者の駒井隆夫会員と令和4年度兵臨技学術奨励賞の小林真会員の受賞記念講演や、Music Inc.のピアニスト米本彩夏さんとナビゲーター南出卓さんによるミニコンサートで会場は盛り上がりしました。創立70年という歴史に刻まれた年輪の上に立って、変わるもの変わらないものを見極めながら、これからも会員一人ひとりの声をしっかり受け止めるため、また、公益社団法人として公衆衛生の向上と県民の健康の保持、増進に寄与するため一層の精進をさせていただきます。

今回の記念式典を迎えるにあたり、多大な御支援、御協力を賜りました兵庫県、関連団体、賛助会員そして会員の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、当会の益々の発展のため、今後ともなお一層の御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。



スタッフ集合



兵庫県知事表彰・感謝 受賞
藤原会員・駒井会員



兵庫県臨床検査技師会
会長感謝 受賞 神戸常盤大学

新連載

突撃！
となりの検査室

兵庫医科大学ささやま医療センター

〈所在地〉〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡5番地



●概要

施設名	兵庫医科大学ささやま医療センター
病床数	180床
部署人数	技師/8人 その他/1人 男女比/2:7 経験年数/～5年目2人、～10年目1人、11年目～6人
勤務体制	勤務時間/8:30～17:00 夜勤体制/当直1人体制
第三者認証	取得済み(病院機能評価)

●検査室で行っている検査領域

検体検査	採血、化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理
生理検査	心電図、呼吸機能、脳波、聴力検査、エコー(心臓、腹部、表在、頸動脈、下肢)

●検査領域

分野	検査機器	年間件数	備考欄
採血	採血管準備装置i-pres fine	9,809件	OGTT
化学	コバSc501	314,799件	
	コバSe601、HISCL5000	16,890件	
血液	XN-1000、CS-2500	55,085件	
	US-2100	14,768件	
微生物	Walk Away DxM1040	8,686件	
遺伝子	TRC ready-80	4,886件	
輸血	オーソビジョンSwift	570件	
病理	Tissue-Tec VIP5 Jr.	681件	
心電図	FCP-9900、FM-1400、FM-970、SCM-9000	3,329件	ホルター解析、血圧付きホルター心電図解析、トレッドミル検査含む
呼吸	オートスパイロメータ [SYSTEM 7]	313件	
神経生理	デジタル脳波システムコメット	172件	脈波、PSG含む
聴力	オージオメータ(リオン)	251件	チンパノメトリー、レフレックス
エコー	Aplio a450、epiq7	1,939件	

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	全般
詳細	規模が小さな病院のため、医師や他の医療技術部門との垣根が低く、互いに疑問があればすぐに連絡を取り、情報を共有することが出来ます。また研修医やレジデントに対してのエコー研修や、グラム染色の実践サポートなど救急の現場で役立つ検査技術の提供に努めています。

●新人教育について

新人教育の進め方	当院では1人の技師が複数の分野を担当するため、新人教育においても1つの病態に対し、検体・生理・病理・微生物検査等多方面からアプローチし、考えることが出来る技師を目指して教育することを心掛けています。
フレッシュな技師さんから一言	(伊藤 滯奈) 一般検査、血液検査、生理検査など、出来る仕事の幅が広がり楽しいです。 スキルアップ目指して尽力したいと思います。

●採血室の状況

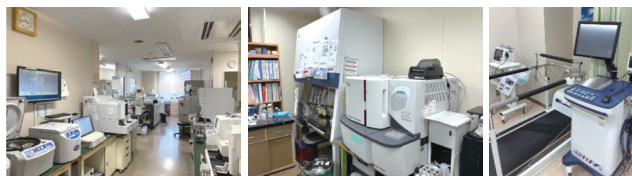
台数	2台	採血数/1日	40人
構成メンバー	技師2人		

●運用面での工夫など

限られた人員の中で、多岐にわたる検査をカバーするために、数か月に一度業務担当見直しを実施し、各検査、各機器の担当者が一人にならないようにしています。また毎週、部内勉強会を実施しており(担当は持ち回り、テーマは自由)、個々人の知識の共有を図り、スキルアップできるように努めています。

●課長より、読者へ向けて一言よろしくお願いたします

当検査室は少人数ですが日当直があり、技師全員が採血・生理・検体・輸血・微生物・病理まで程度の差はありますが携わります。各自専門分野を極めつつ、同時に検査全般を学び、患者さんの病態を考えながら検査にあたることを目標としています。時代の変遷に伴い臨床検査は種類・手技が増え、さらに幅広く深い知識と技術・経験が必要となってきました。そのような中で兵臨技の研修会がWebで受講できるようになり、丹波篠山からでも多くの研修会に参加出来るようになりました。会長はじめ理事の皆様、各学術班の皆様には大変感謝しています。検査技師だからこそ出来ることを最大限臨床の現場に生かすことが出来るよう、これからも研鑽を積み、お互いにサポートし合い、地域医療に貢献したいと思います。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



検体検査室

微生物検査室

トレッドミル検査

学術

タスク・シフト/シェア ～当院の内視鏡検査室の現状～

村上 実緒子 会員 (医療法人信和会 明和病院 臨床検査部)

内視鏡は、先端部に小型カメラのついたスコープを体内に挿入し体内の映像を直接目で見ながら検査・治療・処置を行うことのできる医療機器です。

一般に上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)や下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)が広く知られていますが、内視鏡は臓器ごとあるいは使用目的ごとにつくられているため非常に多くの種類があることが特徴です。

当院の内視鏡検査室は看護師13名(外来兼任)、臨床検査技師2名、洗浄員・事務員2名で運用しており、そのうち臨床検査技師2名を含む計9名が消化器内視鏡技師認定免許を取得しています。また、臨床検査技師も夜間休日のオンコールに対応しています。

令和4年度の内視鏡検査数は上部消化管内視鏡検査約2700件、下部消化管内視鏡検査約2000件、内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)約280件、その他の内視鏡検査(気管支鏡や超音波内視鏡等)約70件を施行しています。

臨床検査技師は患者案内から内視鏡機器及び処置具や備品の準備・管理・点検・検査介助を行っています。

検査介助では医師の指示のもと生検やポリープ切除の鉗子操作やESD時止血鉗子の操作を行いますが、正確な鉗子操作は安全で質の高い検査・治療には欠かせないため医師とタイミングを合わせて操作を行えるよう努めています。

またこの度のタスク・シフト/シェアで、[臨床検査技師が超音波検査のために静脈路に造影剤注入装置を接続する行為]、[造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為]が業務として認められました。従来では造影超音波内視鏡検査の際、施行医が手を止めて造影剤の注入を行っていましたが、臨床検査技師が実施できるようになったことで検査中の医師の手を止めることなくスムーズに業務が行えるようになりました。

タスク・シフト/シェアによって内視鏡検査業務の中での臨床検査技師の関わる分野が広がってきています。今後も業務拡大を図っていきたいと考えております。



#研究班

寺前 正純 会員 (微生物検査研究班)

微生物研究班の寺前です。

この2024年の4月から班長を拝命しました。

私たちが日常業務で遭遇する微生物は細菌、真菌を中心に、ウイルスや赤痢アメーバのような原虫まで多岐にわたり、これらを塗抹、培養、PCRといった手法を駆使して検出し、起因性などの付加情報を加えて報告します。

近年、新たな知見、機器や技術の進歩を背景に、その手法が益々多様化するとともに、抗菌薬適正使用支援 (Antimicrobial stewardship, AS) に貢献する検査の実践が求められています。

そこで微生物研究班では、技術的なレベルアップはもちろん、ASでその役割をしっかりと果たせる微生物検査室を目指し、様々な研修会を企画しています。2023年度は基礎的な内容を2日間かけて学ぶ初級者講習会をはじめ、グラム染色、耐性菌、真菌、検査報告方法等をテーマに取り上げ、その最新トピックスを学びました。また、年1回程度ですが、感染症科の医師にも講演をお願いしています。私たちの結果はどのように受け取られ、診療に反映されているのか、医師の考えや求める検査について知ることは、よりよい検査体制を構築するうえで非常に大切です。

研修会は参加者の「？」を出来るだけ少なくするため、分からないことは気軽に質問できる雰囲気を心がけています。疑問点の解決は、きっと明日からの臨床検査に活かされるはずです。ぜひ、一緒にレベルアップしましょう。皆様のご参加をお待ちしています。



第27回兵庫県医学検査学会（2月4日開催）が、MTJの取材を受け記事になりました！

（メールニュース 2月12日配信）

- 固定概念に縛られず情報収集を一兵臨技・真田会長
- 当直時に必要な知識や注意点などを共有一兵庫検査学会



MTJ記事掲載

技師養成カリキュラムの課題を確認 次回見直しへ 日臨技と日臨教

⑧本臨床衛生検査技師会と日本臨床検査学教育協議会（日臨教）はこのほど、臨床検査技師養成カリキュラムの次回見直しの検討に向けて、論点を整理した報告書を共同でまとめた。総単位数を102単位から増やさずに参加型の臨地実習を充実させるなどの方向性を示した。今後、合同のワーキンググループ（WG）を設けて2025年度中に具体案をまとめ、厚生労働省に見直しを働きかける方針。

養成カリキュラムは2022年4月の入学生から改正され、総単位数を102単位に増やした上、うち12単位を臨地実習に充てることになった。臨地実習については「必ず実施させる行為」「必ず見学させる行為」「実施が望ましい行為」を具体的に定め、さらに、学生が実習に必要な技能や態度を備えているかを確認し指導する技能修得到達度評価も導入されている。改正の基になった厚労省検討会の報告書（2020年4月）は、こうした見直しを盛り込む一方、新カリキュラムの適用から5年をめどに新たな見直しを検討すると明記した。（一部抜粋）

MTJ記事掲載

細菌検査項目を広く引き上げ 24年度改定、 「10項目以上」は3点下げ

中医協は2月14日の総会で、2024年度診療報酬改定について武見敬三厚生労働相に答申した。細菌感受性検査を最大20点増とするなど細菌検査の点数を広く引き上げる一方、「血液化学検査（10項目以上）」は前回の改定と同じ3点を引き下げ、103点とする。採血料に当たる「血液採取（静脈）」は現行37点から40点にする。厚生労働省は3月5日に改定を告示する予定で、6月の実施に向けて、法令上の手続きを進める。

臨床検査関連では、細菌検査領域の点数が前回改定に続き、広く増点となる。日本臨床検査医学会が重点事項の一つとして要望し、中医協の医療技術評価分科会による検討の結果、「対応する優先度が高い技術」の全177件の中に位置付けられていた。（一部抜粋）

MTJ記事掲載

賃上げへ「ベースアップ評価料」24年度改定で新設

中医協が2月14日に答申した2024年度診療報酬改定では、臨床検査技師を含む医療関係職種の賃金をベースアップするため、「外来・在宅ベースアップ評価料」と「入院ベースアップ評価料」を新設することを盛り込んだ。医師や歯科医師を除く32職種が対象となる。

定期昇給分を除く賃金のベースアップを、2024年度に2.5%、2025年度に2.0%にする想定で、初再診料に上乗せする「外来・在宅ベースアップ評価料」を設定する。一定以上の賃上げの取り組みを進める医療機関が算定できる「評価料（I）」は、1日につき初診時に6点、再診時に2点を算定する。

「同（II）」は入院機能を持たない診療所を対象とし、評価料（I）により算定される点数の見込みの10倍の数が、対象職員の給与総額の1.2%に満たない場合などに算定できる。点数は初診時8～64点、再診時1～8点が算定可能となる。

病院や有床診療所については、入院料に上乗せする形での「入院ベースアップ評価料」も算定できるようにする。外来・在宅ベースアップ評価料（I）を算定した上で、さらに不足分をカバーするため、評価料（I）により算定される点数の見込みの10倍の数が、対象職員の給与総額の2.3%に満たない場合など、複数条件に該当すれば算定できる。算定点数は要件により、1日につき1点から165点までとなる。



← 詳細な内容はMTJより参照下さい。 <https://www.mtjnews.com/>

株式会社じほうが記事利用を許諾しています。 THE MEDICAL & TEST JOURNAL

行事予定案内および求人情報は、ホームページに掲載しております。

右のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報





今回私が紹介するお店は、阪急六甲駅から徒歩3分にある【愛蓮六甲店】さんです。

ikariスーパー直営店ならではの厳選素材を使用した本格的な中華料理を頂けるお店です。

店内は、カウンター席、テーブル席があり、個室は円卓の部屋が3部屋あります。（宴会での利用も可）

ランチメニューは、日替わりランチ（平日のみ）の他に、セットメニューとして、選べる海鮮あんかけ麺、麻婆豆腐などのメイン料理に、点心2種、揚げ物、杏仁豆腐がついてきます。（ランチのセットメニューは、土日祝のみ）

人気の日替わりランチでは、メインのお料理が2品ついてきます。訪れるたびに、今日のメニューは、何かたと楽しみになります。

単品メニューも充実しており私のおすすめメニューは、蒸し鶏の葱生姜ソースと海鮮あんかけ焼きそばです。

葱と生姜のうま味が凝縮されていて大好きな一品です。

海鮮あんかけ焼きそばは、プリプリのイカとエビが沢山入っています。固めに焼いた麺とあんかけとの相性が最高です。ぜひ食べてみてください。

社会人となり、地元を離れた今でも、ふと食べたくなる、そんなお店です。

《店舗情報》

店 名／愛蓮 六甲店

住 所／〒657-0065 兵庫県神戸市灘区宮山町2-6-15 いかり六甲店2階

T E L／078-821-3244

営業時間／11:30～14:30 17:00～21:00

定 休 日／水曜日



坪井 文香 会員
(兵庫医科大学病院)



日替わりランチ



蒸し鶏の葱生姜ソース



海鮮あんかけ焼きそば

Canon

私たちは、 「いのち」から始まる。

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であると
キヤノンメディカルシステムズは信じています。

医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。
創業以来、つねに医療関係者の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。
その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、
世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。
医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために。
私たちはこれからも“いま”を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、
そして、ともに歩むために。

Made For life

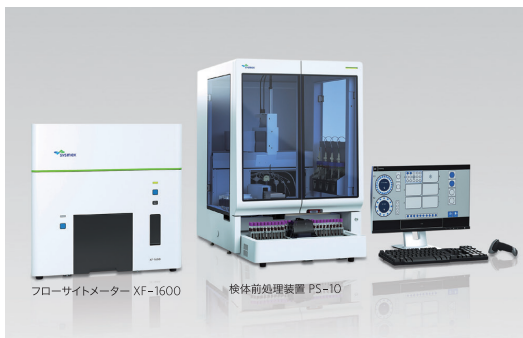
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Z000059-02



sysmex | Together for a better
healthcare journey

シスメックスが提案するフローサイトメトリー検査



フローサイトメーター XF-1600

検体前処理装置 PS-10

フローサイトメーター XF-1600

医療機器届出番号:28B1X10014000009

検体前処理装置 PS-10

医療機器届出番号:28B1X10014000003

フローサイトメーター XF-1600、検体前処理装置 PS-10の
両者をつなぐ専用ローターを用いることで
検体を並び替える煩雑な作業を省力化します。
また、PS-10で読み取ったワークリストを
XF-1600に転送することが可能であり、
フローサイトメトリー検査の作業効率が向上します。



専用ローター

製造販売元

シスメックス株式会社

本 社 神戸市中央区臨浜海岸1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支 店 仙 台 022-722-1710 北 関 東 048-600-3888 東 京 03-5434-8550 名 古 屋 052-957-3821 大 阪 06-6337-8300 広 島 082-248-9070 福 岡 092-687-5380
営 業 所 札 幌 011-700-1090 盛 岡 019-654-3331 長 野 0263-31-8180 新 潟 025-243-6266 千 葉 043-297-2701 横 浜 045-640-5710 機 関 054-287-1707 金 沢 076-221-9362
日 本 東 アジア 地 域 課 03-5434-8565 神 戸 078-251-5331 高 松 087-823-5801 岡 山 086-224-2605 鹿 児 島 099-222-2788

www.sysmex.co.jp



注：当該製品の適用範囲は規格により異なります。
詳細は www.sysmex.com 内 020-2500000 を参照。
Note: Scopes of sites and activities vary depending on the standard.
For details, refer to the IVD 0202500004 at www.sysmex.com

2023年8月作成